

(様式第4号)

第6回上田市男女共同参画推進委員会 会議概要

1 審議会名	第6回上田市男女共同参画推進委員会
2 日時	令和4年1月14日 午後2時00分から午後4時00分まで
3 会場	市民プラザ・ゆう 2階大会議室
4 出席者	丸山理英子会長、笠原邦正委員、柴田隆一委員、山浦和江委員、綿内美鈴委員、竹内梨恵委員 (欠席者：下倉亮一副会長、柿寫宣江委員、金子幸江委員、宮島範雄委員)
5 市側出席者	城下市民まちづくり推進部長、佐藤人権男女共生課長、石田係長、松澤主査、丸子市民サービス課小林係長、真田市民サービス課若林係長、武石市民サービス課児玉係長、特定非営利活動法人 SCOP (委託事業者)
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和4年1月18日

協 議 事 項 等

1 開 会 (佐藤課長)
2 諮 問 (1) 城下市民まちづくり推進部長あいさつ (2) 諮問書交付
3 協議事項 (1) 令和3年度上田市男女共同参画推進事業者表彰について (ア) 選定される事業者について説明 (事務局) (会長) 選定される事業者についてご意見等あれば、お願いしたい。 (委員) 株式会社はたらクリエイトに関して、このような事業者が上田にあることを知らなかったもので、驚いている。子どもを育てながらも働くことができる女性を育てていこうとする事業所側の姿勢が制度から伺えたので、ぜひともこのような働きやすい環境を他の事業所にも広めていっていただきたい。 (委員) どの事業所も良いと思う。希望職種さえ合えば、自分の子どもにも就職してもらいたいと感じた。自分自身、採用面接の際に寿退社を促されたことや、課長職につける機会があっても、家庭の事情でつけなかった、といった経験があったので、もし自分が若ければ、このような事業所で働きたいと感じた。特に、山洋電気株式会社の「育児と仕事の両立支援制度」の中に、「共済会への届け出」という仕組みがあり、未満児を保育園に預けたら、保育料の20%の助成金をもらえる、ということに驚いた。子どもを預け、働きに出るという環境にあることが素晴らしいと感じた。いずれにしても、どの事業所も表彰に値すると思う。 (会長) その他、ご意見あればお願いしたい。なければ、今、お二方の委員からこの5つの事業者の表彰でよいとの評価があったので、5つの事業所を選定することとする。 (事務局) この結果を3月1日に市長に答申し、3月8日に表彰式を行うこととする。 (イ) 第4次上田市男女共同参画計画案パブリックコメントの結果について説明 (事務局) (会長) 市の修正案や対応についてご意見等あれば、お願いしたい。

(委員) パブリックコメントの対応については、市の修正案で良いかと思う。一点、施策の成果指標の見方について、教えていただきたい。例えば、計画案の 31 ページに、「施策の進捗を管理するための指標」として、「市の女性職員に対するキャリアアップ研修開催回数」の基準値の 1 回は現在行っている回数で、目標値の 1 回は、毎年 1 回は行っており、令和 8 年でも 1 回は行っている、という理解になるか、教えていただきたい。もしそのような理解でよろしければ、43 ページにある、「施策の進捗を管理するための指標」の「相談窓口担当者連絡会の開催回数」に記載のある、基準値の 1 回に対する、目標値としての「維持」という記載の仕方と、どのような違いがあるのか。「維持」の記入の仕方の意味を教えていただきたい。また、31 ページに戻るが、基準値及び目標値の 1 回というのが年間回数だとわかるように記載していただければと思う。

(事務局) 目標値の記載の仕方は統一したものに修正する。「相談窓口担当者連絡会の開催回数」については、ご理解いただいている通り、年一回は最低行っていききたいと思い、「維持」という記載をしている。また、「市の女性職員に対するキャリアアップ研修開催回数」も年一回は最低行っていききたいと考えているので、記載の仕方は改めたい。

(委員) 計画案の 25 ページに、「包括的性教育についての理解度」を「施策の成果指標」としているが、目標値が検討中になっており、この後、検討中の成果指標に関して、どのように数値目標を出していくのか教えていただきたい。

(事務局) 成果指標に検討中と記載のある数値目標をどのように算出するか、事務局の方でまだ検討している最中である。今ほどご意見いただいた「包括的性教育についての理解度」については、これから講座を行っていく中でアンケートを実施し、数字としてデータを集めていくことになるが、指標の目標値を数字として記載するのか、数字を記載しないで、基準値より上昇することを示す矢印を記載するか検討しており、一度委員の皆様からご意見頂戴できればと思う。他の計画書を参考にしても、おおざっぱに目標値が記載されているものから、細かく設定されているものまで、様々ある。事務局としては、年に 1% ほどの伸び率として、目標値を記載しているが、委員の皆様からもご意見頂戴しながら今回の計画に記載する目標値の設定できればと思う。なお、最終的な目標値については事務局一任としたうえで、審議いただければと思う。

(会長) 事務局より説明のあった成果指標の目標値について、ご意見等あればお願いしたい。

(委員) 27 ページの、「施策の進捗を管理するための指標」として、「性の多様性への理解促進のための研修・講座の参加者数」の目標値が令和 8 年で累計 100 人ということだが、単位は「%」ではなく、「人」ということでよろしいか。また、31 ページの「施策の進捗を管理するための指標」として、「自治会三役に女性が就いている自治会の割合」という項目があるが、基準値は把握されていないのか、もしくはどなたもいないのか、教えていただきたい。

(事務局) 「自治会三役に女性が就いている自治会の割合」について、担当課に確認したところ、上田地域ではそれぞれの地域の自治会三役の名簿が提出されているが、その他の地域の自治会三役の名簿がなく、現段階の数字が把握できていない状態である。そのため、計画策定後の来年度以降数値をしっかりと把握していきたいと考えている。なお、自治会の数は、現在 241 ということ、そのうち、自治会三役に女性が就いている自治会の割合を見ていきたいと思っている。

(委員) 人権男女共生課だけではなく、市全体で目標値を決めていくことになると思い、難しい部分があると感じるが、これまでの数値の伸び率から見て算出するのもよいかと思う。数字がしっかり入っている方が 5 年後、評価がしやすく、施策もしっかり行うと思うので、入れた方がわ

かりやすく良いかと思う。話が変わるが、資料編の第5節、「国連の女性問題への取組と日本の動き」とあるが、これはパブリックコメントの中で出たご意見と認識しているが、この年表の中に、「北京会議」は入らないのか。

(事務局) 「北京会議」については本文で触れている。

(会長) ほかにご意見があればお願いしたい。なければ、私から、この目標値については事務局も相当考えていると思われるが、簡単に達成できても、大きな目標値のために達成できなくてもいかがかと思う。ただ、矢印よりは具体的な目標値を入れたほうが、5年後に評価しやすく、振り返りもできると思うので、数値設定したほうがよいと思う。

(委員) パブリックコメントの中に、「資料が多く掲載されていてよい」というご意見が出ていたのに関連して、用語解説の出典があれば教えていただきたい。

(事務局) 用語に関しては、特定の出典に限らず、複数の文献などを参照して、こちらで作成、編集したものになるため、特に出典は記載していない。なお、本文中にある通り、特定のものを参照した場合には、必ず出典を記載している。

(会長) その他なければ次の議題に移ろうと思うが、他にいかがか。

(委員) パブリックコメントの中にあつた、「世界の先進国の具体例や、日本が改善を強く国連から指導されている内容について触れてほしい」というご意見に対して、コラムを掲載した、とのことなので、コラムのページを目次に反映していただければと思う。

(事務局) 頂いたご意見を踏まえて対応させていただく。

(会長) その他にいかがか。

(委員) グラフの年度の表記について、「H」が「平成」ということがわかりにくいので、単位が年度であることを示していただけませんか。

(事務局) 頂いたご意見を踏まえて対応させていただく。

(委員) パブリックコメントのご意見の結果について、年代や性別を可能であれば教えていただきたい。

(事務局) 頂いたパブリックコメントのご意見の内容はホームページ上などで公表するが、詳しい年代や性別までは掲載しない。詳しくは言えないが、様々な年代からご意見をいただき、比較的女性の方が多かったという回答とさせていただきたい。

(会長) その他なければ、今回出たご意見は事務局内で検討し、次の議題へ移らせていただく。

(ウ) 第4次上田市男女共同参画の検討事項について説明 (事務局)

① 愛称

(会長) 愛称について、まず、愛称をつけるのか、つけないのか、ご意見等お願いしたい。

(委員) 最初はあつたほうがよいかと思ったが、自分は思いつかなかった。いいものがあれば愛称をつけて良いと思うが、男女共同参画という言葉も広がりつつあるので、無理につけなくてもいいのではないかと感じた。

(委員) 男女共同参画というと、文字面だけで避けられてしまうと思うので、普段から気軽に話してもらえるように、愛称はあつた方が良く考える。事務局案の中では、「うえだカラフルプラン」が一番、何だろうと思える名前が良いと思った。

(委員) デザインにもよるかと思うが、手に取って読んでもらえるよう、愛称はつけたほうがよいのではないかと思う。他の自治体を参考に見てみると、柔らかい雰囲気、興味を持ってもらえるデザインや名前がついていると感じた。パブリックコメントで周知をしてほしいのご意見が

寄せされていたが、愛称をつけることで、チラシなどをつくる際にもよいのではないかと思う。

(委員) 表紙の雰囲気には、「うえだカラフルプラン」が一番合うと思った。また、キャッチフレーズがあるので、文字は少ないプラン名がいいと思う。

(会長) 「ともに認め合い、輝いて生きるために」というキャッチフレーズが既にあるので、これ以上愛称をつけなくてもよいのではないかと感じた。仮に、「うえだカラフルプラン」とした場合に、何の計画なのかかわからないと思った。また、事務局案として、「誰もが輝くうえだプラン」、「ともに認め、支え合ううえだプラン」とあるが、キャッチフレーズを少し変えただけになってしまっているので、キャッチフレーズがあれば十分と感じている。委員の皆様から様々なご意見があるが、まず、愛称をつけるか、つけないか、決めたいと思う。

(委員) 今ここで決めなければならないのか。ここで決めなくてもよいのであれば、本日欠席されている委員の方のご意見も聞いてはいかがか。

(委員) 愛称をつけるか、つけないか、他の委員の方のご意見を聞きながら、事務局案以外にもご意見がないか聞いてもよいかと思う。

(会長) 間に合うのであれば、他の委員の方からもご意見を聞くのでいかがか。

(事務局) 欠席の委員が多くいらっしゃるので、他の委員の方のご意見を伺い、まとまったところで、事務局より委員の皆様にご連絡させていただきたいと思う。最終的には事務局一任になるかと思うが、その旨、ご了承願いたい。

② 成果指標

(会長) 先ほどご意見が挙げられたが、追加であれば頂戴したい。なければ、次の議題に移るとする。

③ 用語解説

(会長) こちらも先ほどご意見が挙げられたが、他にあれば頂戴したい。

(委員) 43 ページ、「課題解決に向けた主な取組」の内容として、「相談体制の充実と相談窓口のワンストップ化の促進」と記載されているが、ワンストップ化の意味が分からなかったため、可能であれば用語解説に追加していただきたい。

(委員) 私も同じくわからなかったので、あってよいかと思う。一つ質問で、資料編にある用語解説と、各ページの欄外に記載のある脚注に違いはあるのか、教えていただきたい。

(事務局) 各ページの欄外に記載のある脚注をまとめたものが資料編の用語解説としており、両方に同じ説明をしている。

(委員) 私としては、こちらの用語集で十分なのではないかと思う。

(委員) たとえ少数でも、複数の方が分からない用語は追加してはいかがか。

(委員) 41 ページ、「課題解決に向けた主な取組」の内容として記載のある、「相談員のスキルアップやメンタルヘルスケアのための研修会等実施」の、「スキルアップ」や「メンタルヘルスケア」も追加していただければと思う。

(事務局) 「ワンストップ化」、「スキルアップ」、「メンタルヘルスケア」は、ご意見を踏まえ、追加させていただく。

(会長) 11 ページに記載されている「3次産業」の表記と、解説内の、「第一次産業、第二次産業」の表記が違うが、意味はあるのか。

(事務局) 特に意味はないので、統一させていただく。

(委員) 一点確認で、周知方法はこれまで、保育園、幼稚園、小学校、中学校、大学、団体へ配布していたかと思うが、今回は概要版などの作成はしないのか。作成するのであれば、例えば、ルビをふるなど、年代による対応をされるのか教えていただきたい。

(事務局) 概要版は作成して配布する予定ではある。年代別といった点では、小・中学生向けに新たに作成したいと考えているが、紙ベースでつくるのか、タブレットなどで見れるように掲載するかは検討中である。いずれにしても、年代別には作成する。

(委員) 年代別に作成するのであれば、どの年代に見てもらうかによって、用語解説の内容も変わってくると思うので、適宜対応していただければと思う。

(会長) その他いかがか。

(委員) 「ICT」という英語表記に、「(アイシーティ)」のように読み仮名がふってあるが、「AI」の英語表記にも読みをつけていただきたい。また、「Society5.0」や、「DV」にもお願いしたい。

④その他

(会長) 全体的にご意見があればお願いしたい。

(会長) 私から、13 ページに記載のある条例に関する文章で、「市、市民、事業者など関係者と協働しながら取り組んでいきます。」とあるが、条例には、「市、市民、事業者及び教育関係者が協働して、男女共同参画社会を早期に実現することを決意し、この条例を制定する。」と記載されているので、「関係者」ではなく、「教育関係者」という記載に直していただきたい。

(委員) 35 ページ、「課題解決に向けた主な取組」の内容として記載のある、「介護を必要とする方やその家族が安心して生活できる、介護サービスの充実と周知」の担当課に、高齢者以外（65歳以下）の介護が必要な方やその家族も含まれるように、担当の課を追記していただきたい。

(事務局) 64 歳以下の介護を必要とする方やその家族を対象とする担当課は、障がい者支援課になるので、確認し、追記させていただく。

(委員) 重点施策として、「働きやすい環境づくりや多様な働き方の推進」としているのですが、高齢者以外（65 歳以下）の介護が必要な方やその家族にも、働きやすい環境を整えていくことが大切なのではないかと思うので、障がい者支援課も入れていただきたい。

(会長) 最後に、資料編 55 ページに記載のある「上田市男女共同参画推進委員会委員名簿」の確認をお願いしたい。問題ないようであれば、事務局より、最後次回委員会の連絡をお願いしたい。

(2) その他

- ・次回委員会は、令和4年3月1日（金）14時～開催
場所は市役所本庁舎にて答申と事業者表彰制度を行う。